ミッション・価値・目標設定シート（MVTシート）

様式２－１

○基本情報

		記載日	平成30年8月27日
団体名	一般社団法人　神戸港振興協会	所管局名	みなと総局
設立目的	神戸港の振興対策を強力に推進し、神戸港の永遠の発展に寄与することを目的とする		

M 市が団体に求めるミッション Mission

長期	神戸港の振興・永遠の発展という設立目的に則り、神戸港の振興に取り組むとともにウォーターフロントの活性化を推進し、神戸港のさらなる発展に寄与すること
５年	1 神戸港振興事業 市と連携し、積極的かつ効果的な神戸港への船舶の誘致を進めるとともに、港を支える人材を育成し、開港150年を更なる契機として、人・物で賑う神戸港を実現するための一翼を担うこと 2 博物館・タワー事業 港都神戸のシンボルとして、魅力ある企画展や話題性のあるイベントを実施し、神戸港の魅力を向上させ、市民や観光客に親しまれる港づくりに貢献するとともに、港への理解と港湾・海事思想の普及を図り、港を支える人材を育成すること 3 港湾関係会社・団体との連携 500社を超える会員ネットワークを活用し、港湾管理者と関係業界団体との連携を図ることにより、神戸港の発展に資すること 【2020ビジョン及び部門別計画等との関わり】 夜間景観の演出（ポートタワー・海洋博物館のライトアップ） アジアクルーズの客船誘致強化（歓迎行事等）

V 市民に提供する価値 Value

1

・神戸港の活性化のため、市民と港を結ぶイベントを実施する。
・客船誘致活動の推進、クルーズ客船等の歓送迎行事を実施する。
・港湾関係人材を育成し、将来の神戸港を支える。

上記の取り組みにより、更に神戸港を楽しむことができる。

2

・タワー・海博を活用し、神戸港を広くPRする。また、こどもたちを中心に、港湾・海事思想の普及をはかる。

上記の取り組みにより、更に神戸港を知ることができる。

3

・会員になることで協会の運営に参画でき、ネットワークの活用など会員向けサービスを受けることができる。

T 事業目標 Target

A

・魅力あるイベントを実施し、イベント来場者数増
・神戸市客船誘致協議会として入港時の歓迎行事の実施及び市民見学会等の実施
・フェイスブック等を活用した情報発信
・神戸港振興事業の効率的運営（経費・運営体制見直し）

B

・神戸ポートタワー、神戸海洋博物館の有料入場者数増
・イベント等の実施（ボトルシップ教室、帆船模型教室の開催、トライやるウィーク受入等）による港湾・海事思想の普及

C

・協会会員数増
・協会会員向け事業の実施（神戸港オリエンテーション、海外主要港視察研修会、セミナー開催等）による会員ネットワークの強化

様式２－２

平成29年度　ミッションの達成評価シート1　［1次評価］

		記載日	平成30年8月27日
団体名	一般社団法人　神戸港振興協会	所管局名	みなと総局

○団体による自己評価［1次評価］

事業No.	１－Ａ	主要事業（様式１－３）との関わり	あり（事業番号：　１　）
H29事業目標	①神戸市と協力した神戸開港150年記念事業の実施 ②KOBEメリケンフェスタ、神戸港カッターレース、Kobe Love Port みなとまつり、神戸港ボート天国、みなとこうべ海上花火大会等の実施 ③神戸市客船誘致協議会として入港時の歓迎行事の実施、市民見学会等の実施 ④フェイスブック等を活用した情報発信 ⑤神戸港振興事業の効率的運営（経費・運営体制見直し）		
H29実績評価	①②開港150年記念事業、その他イベントの実施 合計717,365人（前年比＋65,483人） ・KOBEメリケンフェスタ（5月3日～5月6日）　106,000人 ・神戸港カッターレース（5月14日）　23,000人 ・Kobe　Love　Portみなとまつり（7月16日、17日）　245,000人 ・神戸港ボート天国（7月17日）　7,135人 ・みなとこうべ海上花火大会（8月5日）　336,230人 ③客船歓送迎等の実施 ・神戸港入港回数　118回（昨年　112回） ・歓送迎行事　41回（昨年度　26回） ・市民クルーズ　9回（昨年度　7回） ・市民船内見学会　2回（昨年度　6回） ・客船フェスタ（3月25日）　3,800人（昨年度　5,000人） ④情報発信 ・みなと振興友の会の運営（130人） ・ホームページによる情報発信 29年度アクセス数　77,307回 ・フェイスブックによる情報発信 29年度「いいね」増加数　＋3,352（5,373→8,725） ⑤事業の効率的運営 ・花火大会　出店場所をメリケンパーク臨時駐車場等に集約し、来場者が安全に観覧できるよう、会場レイアウトの見直しを行った 開港150年記念事業の効果もあり、昨年度を大幅に上回るイベント来場者を確保し、神戸港の活性化に寄与することができた。以上より、A評価としたい。	評価 A	
H30事業目標	▸KOBEメリケンフェスタ、神戸港カッターレース、Kobe Love Port みなとまつり、神戸港ボート天国、みなとこうべ海上花火大会等の実施（30年度目標：683,000人） ▸神戸市客船誘致協議会として入港時の歓迎行事の実施、市民見学会等の実施 ▸フェイスブック等を活用した情報発信 ▸神戸港振興事業の効率的運営（経費・運営体制見直し）		
評価担当者	経営管理部長　西村邦三		

様式２－２

平成29年度　ミッションの達成評価シート1　［1次評価］

		記載日	平成30年8月27日
団体名	一般社団法人　神戸港振興協会	所管局名	みなと総局

○団体による自己評価［1次評価］

事業No.	２－Ｂ	主要事業（様式１－３）との関わり	あり（事業番号：　２・３　）
H29事業目標	①神戸ポートタワー、神戸海洋博物館の有料入場者数増（平成29年度：タワー348,500人程度　博物館　194,000人程度）を目指し、神戸港を広くPRする。 ②港湾・海事思想の普及に資するイベント等の実施		
H29実績評価	①有料入場者数 【神戸ポートタワー】 ・（H28）331,779人　→　（H29）364,282人　　＋32,503人（＋9.8%） ・主な増減理由　開港150年記念事業による効果で、大勢のお客様に入場いただいた ・実施イベント　こどもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス、初日の出展望、節分　など 市民感謝デー無料開放（11月23日　4,140人） 神戸のナイト・タイムを楽しむ時間延長 （12月1日～26日　19時までの営業を21時まで延長） 【海洋博物館】 ・（H28）190,810人　→　（H29）215,398人　　＋24,588人（＋12.9%） ・主な増減理由　開港150年記念事業による効果で、大勢のお客様に入場いただいた ・実施イベント　開港150年記念写真パネル展 水中写真展、海上保安庁展、 神戸港 成田一徹 切り絵展　など ②港湾・海事思想の普及に資するイベント 【協会主催】 ・帆船模型教室　20人×15回 ・夏休みボトルシップ教室　76人 ・神戸みなとの知育楽座　630人 ・トライやるウィーク受入　7人 ・モーターボート体験乗船会　19人 ・ヨット・クルーザー講座　21回　180人 ・夏休み親子体験セイリング　26人 【協会共催等】 ・神戸みなと体験　191人 ・三菱しんせんサマースクール　86人 ・親子交流海洋教室　63人 ・市民クルーズ・海洋教室　287人 ・市民クルーズ・神戸港灯台巡り　150人 ・南極観測船一般公開　7,011人 ・海上保安庁展示訓練　298人 開港150年記念事業の効果もあり、ポートタワー・海洋博物館の有料入場者数は、大幅に増加した。また、港湾・海事思想の普及に資するイベントは目標どおり着実に実施した。以上より、A評価としたい。		評価 A
H30事業目標	▸神戸ポートタワー、神戸海洋博物館の有料入場者数増（平成30年度：タワー350,000人程度　博物館　205,000人程度）を目指し、神戸港を広くPRする。 ▸港湾・海事思想の普及に資するイベント等の実施		
評価担当者	経営管理部長　西村邦三		

様式２－２

平成29年度　ミッションの達成評価シート1　［1次評価］

		記載日	平成30年8月27日
団体名	一般社団法人　神戸港振興協会	所管局名	みなと総局

○団体による自己評価［1次評価］

事業No.	３－Ｃ	主要事業（様式１－３）との関わり	あり（事業番号：　1・4・5　）
H29事業目標	①協会会員数増（29年度：10社増の550社） ②協会会員向け事業の実施 （神戸港オリエンテーション、海外主要港視察研修会、セミナー開催等）		
H29実績評価	①協会会員数 ・会員数　（H28）540社　→　（H29）530社　　△10社（△1.9%） ・取り引きのある事業者等に積極的に働きかけた結果、6社増加 ・市外への移転、廃業、経費節減等により、16社減少 ②協会会員向け事業 会員数は減少したが、セミナーの充実など、会員サービスの充実を図った ・神戸港オリエンテーション （4月5日、6日）　61社297人 ・神戸港事業計画説明会 （5月26日）　106社157人 ・会員向けセミナー 10月26日　神戸空港は新たなステージへ　80人 3月28日　南京町150年のあゆみ　40人 ・神戸港PR誌「神戸港からのたより」発行（年4回・各4,000部） 市外への移転や廃業等により会員数が減少したものの、会員向けサービスを継続して実施した。以上より、A評価としたい。		評価 A
H30事業目標	▸30年度末に（一財）神戸観光局と統合する予定のため、会員数の増は目標としない ▸協会会員向け事業の実施 （神戸港オリエンテーション、神戸港事業計画説明会、セミナー開催等）		
評価担当者	経営管理部長　西村邦三		

様式２－３

平成29年度　ミッションの達成評価シート2　［2次評価］

		記載日	平成30年9月3日
団体名	一般社団法人　神戸港振興協会	所管局名	みなと総局

○所管局による総合評価（ミッションの達成評価）［2次評価］

コメント	【ミッション毎の評価】 1．神戸港振興事業・・・・・・評価　A （上記評価の理由） 市と協力した神戸開港150年記念事業を実施するとともに、積極的な情報発信を行い、イベントについては昨年を上回る来場者を記録し、神戸港の活性化に努めたといえる。また、花火大会の出店場所を集約し、来場者の安全を確保できるよう、会場のレイアウトを改善するなど、振興事業の効率的運営を行ったと評価できる。 2．博物館・タワー事業・・・・・・評価　A （上記評価の理由） ポートタワー・海洋博物館ともに開港150年記念事業を実施したことにより、目標以上の入場者が来場した。また、港湾・海事思想の普及に資するイベントについても着実に実施した。 3．港湾関係者・団体との連携・・・・・・評価　A （上記評価の理由） 会員数については市外への移転、廃業等により減少したものの、セミナーなどの会員向け事業を会員ニーズに合わせて充実させ、会員ネットワークの強化、港湾管理者と関係団体の連携強化に努めたと評価できる。 【総合評価の理由】 上記3点の事業の実施等により、神戸港の発展に寄与したと評価できる。	**総合評価** S A B C
対応方法 （総合評価がB又はCの場合は必ず記載）		
評価担当者	みなと総局総務課長　和泉　智久	